

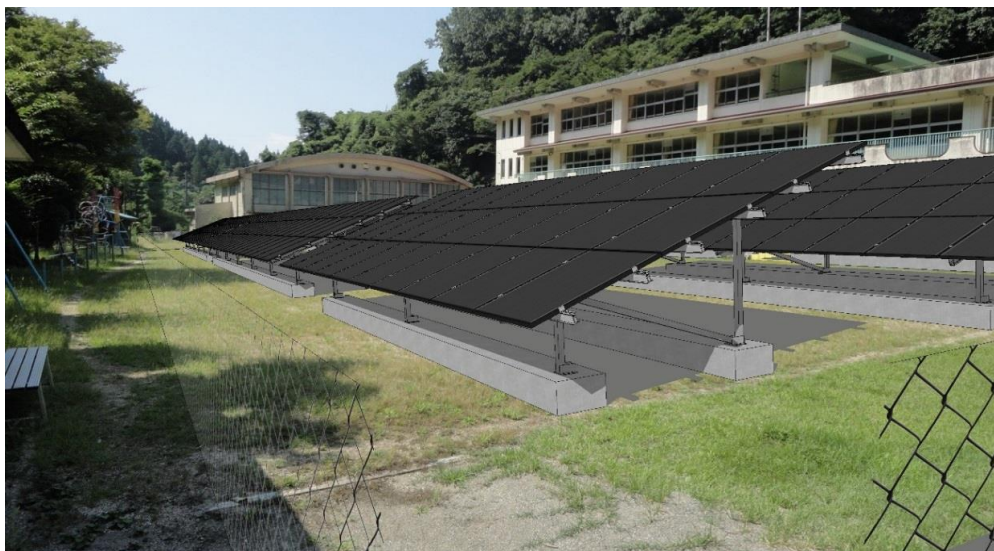
報道関係各位

平成26年3月28日

道東電機株式会社

「旧八代市立河俣小グラウンドに太陽光発電所を建設 八代市で初めて！！公募による「廃校跡地グラウンドの利活用」決定！！

- 道東電機株式会社は、太陽光発電事業に取り組むことにより地域経済の活性化をキーワードに、クリーンエネルギーの普及、エネルギーの地産地消等を目的として取り組んでまいりました。今後も、さらなる太陽光発電の普及拡大を全国へ広めてまいります。
- 建設予定地は旧河俣小学校グラウンド(熊本県八代市東陽町河俣)で発電出力110.4kWの発電所を計画しており、本年4月に着工し、2014年度の稼働を目指しています。年間発電電力量は約128,891kW/h、36世帯分に相当します。
- 発電事業については八代市から借地し、発電所を建設した後、発電した電気を電力会社に売電いたします。また、売電収入の一部を活用し、地域の活性化と発展振興への支援を行い、地域貢献に協力いたします。発電所の設備については、ソーラーフロンティア株式会社の太陽電池モジュール(日本製)を採用いたします。
- 当社は、これまで北海道でメガソーラーをはじめ合計で13.4MWの施工実績があります。また、子会社による太陽光発電事業である江別ノーザンフロンティア発電所は、江別市の有休地を利用させていただき発電所の運営をさせていただいております。江別市での事業(1.5MW)は江別市民をはじめ、全国各地からの見学者へ向けた安全なエネルギーの普及や啓蒙教育活動も大きな事業使命として皆様のお力を頂きながら、地元地域に愛されることを目指して運営致しております。また、北海道での活動内容を評価され、北海道経済産業局から平成25年度「北国の省エネ・新エネ大賞」普及拡大部門を受賞しております。
- 本事業ではFSエナジー株式会社(福岡市中央区天神) 代表取締役社長 藤田信博氏(河俣小学校卒業生)の全面的なご協力を頂いています。
- 今回の旧八代市立河俣小学校グラウンド太陽光発電所におきましても、江別市での取り組みの経験を活かしながら、環境教育や地元地域の皆様にお役立ちができるように運営を致します。



旧八代市立河俣小学校グラウンド
「しょうがの里河俣発電所」イメージ図

